

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	令和2年11月12日(木) 午後1時30分 開会 ・ 午後3時00分 閉会
開 催 場 所	市民会館 3階 第1号室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	山下恵久子 橋本清美 三上 勝 白水 翠 下里隆子 宮岡幸江 春名恭一 川合輝之 栗原正明 伊藤祐一 橋本康夫 今井英雄
欠席委員(者)氏名	臼井 秀
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 松本幸文
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員自己紹介 3 事務局職員紹介 4 委員長・副委員長の選出について 5 議 題 (1) 「第2次元気ないま福祉プラン」の概要説明(公開) (2) 第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告(令和元年度分)(公開) 6 その他 7 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・会議次第 ・入間市地域福祉計画進行管理委員会委員名簿 ・第2次元気ないま福祉プランについて(パワーポイント) ・第2次元気ないま福祉プラン(概要版) ・平成30・令和元年度「元気ないま福祉プラン」における主な取り組み ・令和元年度第3次入間市地域福祉計画進行管理報告書(案)
事務局職員職氏名	福祉部 部長 田代高久、次長 徳山寿行 福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主任 喜多美和 主任 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議 題

- (1) 「第2次元気ないるま福祉プラン」の概要説明
 - ・資料に基づき事務局より説明

- (2) 第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告（令和元年度分）
 - ・令和元年度を中心に、成果と課題について、資料に基づき事務局より説明

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>委員長・副委員長の選出について 協議の結果、次のとおり決定。(進行は、田中市長)</p> <p>委員長 栗原正明 委員 副委員長 山下恵久子 委員</p> <p>なお、議事録署名人は、名簿順に従い山下委員となる。</p> <p>(議題(1)「第2次元気ないま福祉プラン」の概要について事務局より説明)</p>
栗原委員長	<p>今の説明に対するご質問など何かありますでしょうか。</p> <p>特に無いようでしたら、議題(2)について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(議題(2)第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告について事務局より説明)</p>
栗原委員長	<p>今の説明に対するご意見、ご質問など何かありますでしょうか。</p>
今井委員	<p>市民後見人の養成については、令和元年度は実施しておらず、フォローアップ研修のみとなっていますが、何か理由があるのでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>市民後見人は平成30年度に11名養成しましたが、初めての取組みであるため、まずはその11名のフォローを重視したため、令和元年度は新規</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井委員	<p>の養成は行いませんでした。しかし、令和3年1月に市民後見人養成講座基礎編を実施する予定です。</p> <p>1月だけの実施なのでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>1月から2月にかけて実施する予定です。</p>
今井委員	<p>分かりました。市民後見人の養成は今後重点課題となります。今後、後見人をやめる方が出てくると思われるので、引き続き養成を行っていただきたいと思います。</p>
伊藤委員	<p>報告書の3ページにあるゴミ出しのボランティアについてですが、ゴミ出しは簡単に見えて意外と負担が大きいです。この見守りボランティア事業の件数はどのように推移しているのでしょうか。</p>
松本主任	<p>平成29年9月時点で、利用希望者申込が9人、見守り協力員が9人、マッチング件数が4件でした。令和2年9月時点では、利用希望者申込が24人、見守り協力員が18人、マッチング件数が12件でした。</p>
伊藤委員	<p>行政として、この数字は多い、少ない、どのように感じているのでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>決して多くはないと感じています。</p>
伊藤委員	<p>マッチングが12件というのは少ないと思います。どこかに伸び悩んでいる原因があるのではないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
橋本（康）委員	3年であまり進んでいないと感じます。マッチングなので、入間市全域ではやり方に無理があると感じています。報告書では改善について検討していくという内容にした方が良いと思います。
浅見主幹	需要があっても、供給が追いつかず、支え合い組織をお願いすることになっているのではないかと考えられます。改善策等について、今後、介護保険課と調整していきます。
山下副委員長	ゴミ出しは継続して行っていかなければならないので、想像以上に大変です。1か月だけ行うというのであればやっていただける方もいますが、ずっと継続していくのは大変です。1件に対して、最低5人は必要です。要望があっても、受けるボランティアがいなければ成り立ちません。
浅見主幹	継続の大変さも伸び悩んでいる原因ではないかと思います。
橋本（康）委員	報告書の1ページ目にある総合相談支援窓口の設置についてですが、令和4年度はどこかの公民館に設置するということでしょうか。また、各地区の窓口は段階的に設置していくのでしょうか。
浅見主幹	各地区の地区センター化に合わせて進めています。これまで公民館等で行っていた事業を含め、6つの機能を持つ予定です。その内の1つが総合相談窓口となります。令和4年度に9つの地区全てに地区センターを設置しますが、準備の時間も限られているため、最小限の機能からのスタートになるかとは思っています。
橋本（康）委員	段階的な設置と考えていたのでとても良いことだと思います。そうであれば、この報告書（案）に、より成果を強調して記載してはどうでしょう

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	か。 未だ決定事項ではなく、このような記載としています。現段階で盛り込める内容があれば記載していきたいと思います。
橋本（康）委員	報告書にボランティアの養成が進んでいると記載していますが、ボランティアの数は十分とは言えないと思います。そのため、養成については課題として取り上げ、市政に反映していただきたいと思います。 また、生活支援コーディネーターの配置は進んでいるのでしょうか。
浅見主幹	令和元年度には9地区全てに配置が完了しています。
橋本（康）委員	地域福祉を推進していくうえで、生活支援コーディネーターの役割は大きく、配置が進んだことは成果であると考えられるので、この成果を報告書に入れていただきたい。
浅見主幹	報告書に記載していきます。
下里委員	ボランティアについては、募集してもなかなか集まらないと思います。福祉懇談会においても、昼だから参加できないとか、土日であれば参加できるなどの意見もありますので、日時を工夫しているところもあります。ボランティアの確保は今後の課題であると思います。 また、地域課題を解決するための財源の確保についてですが、電話の維持費についてはみなさんどのようにしているのでしょうか。
山下副委員長	電話の維持費については、支え合い組織の立ち上げから3年間は補助金が出たため、その中で事業を行っていました。当時は携帯電話を2台体制

発 言 者	発 言 内 容
橋本（康）委員	<p>で、月5,000円ほどでしたが、現在は1台に減らしており、維持に努めています。</p> <p>報告書の中では、支え合い組織ができたことについては触れていますが、担い手の不足など、課題を抱えています。そういった課題を報告書に載せてほしいと思います。</p>
浅見主幹	<p>課題についても触れていきます。</p>
栗原委員長	<p>それでは、何か他にご意見・ご質問等がありますか、無いようでしたら、これで議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>（その他）</p> <p>次回の開催予定については、令和3年3月を予定しております。但し、新型コロナウイルスの状況により、委員長と相談のうえ、ご案内させていただきます。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和2年11月25日

議長の署名 _____ 栗原正明 _____

議長が指名した者の署名 _____ 山下恵久子 _____